

PCA Report

2018.4.1-2019.3.31 第39期年次報告書

トップ
インタビュー

サービス指向のモノづくりにこだわる 「マネジメントサポート・カンパニー」を目指します

ピー・シー・エー株式会社
証券コード: 9629

ニュース&トピックス

PCA FES 2019 が全国11都市で開催中!

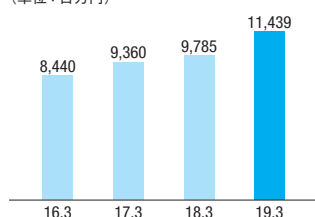
クラウド&ソリューション“総務・人事・経理”の今知りたいが集まる日をテーマに6/7(金)から全国11都市でPCAフェスを開催しております。業務改善のヒントになる多数のセミナーと多数のソリューション製品展示コーナーを同時に開催し、連日盛況をいただいております。



財務ハイライト

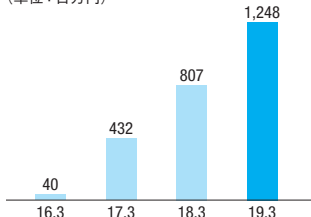
売上高

114億39百万円
(前期比16.9%増)
(単位: 百万円)



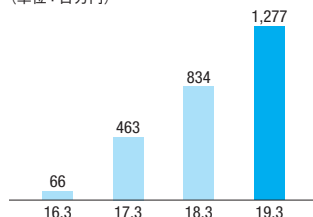
営業利益

12億48百万円
(前期比54.7%増)
(単位: 百万円)



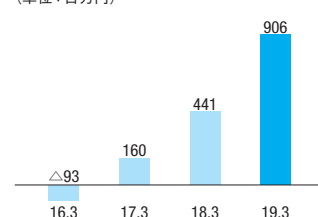
経常利益

12億77百万円
(前期比53.0%増)
(単位: 百万円)

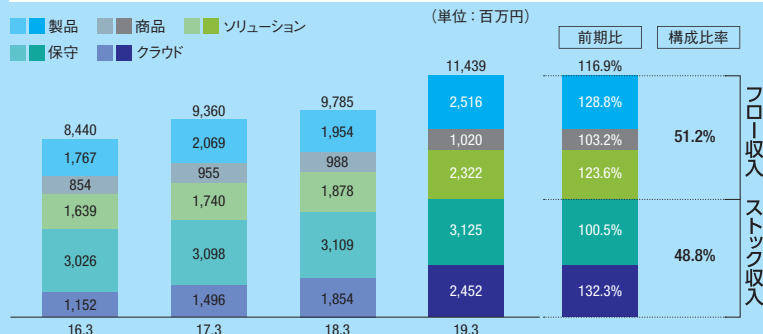


親会社株主に帰属する当期純利益

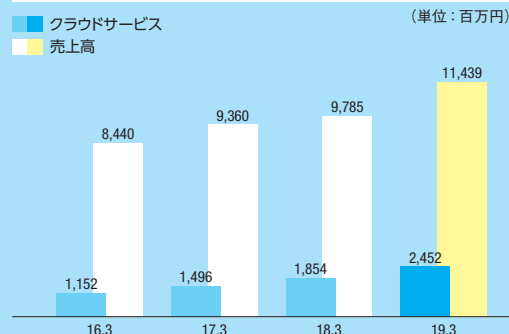
9億6百万円
(前期比105.5%増)
(単位: 百万円)



種類別売上高



売上高に占めるクラウドサービスの売上高



PCAをひもとく 5つのキーワード

課題解決サービスの提供を通して「マネジメントサポート・カンパニー」を目指します

中小企業向けの会計ソフトの開発・提供を軸として成長してきた当社の、現在の事業内容や特長を5つのキーワードを通してご紹介します。

カスタマ・ファーストの精神

Keyword

01

- 1 カスタマ・ファーストの精神を常に心がけます
- 2 健全経営、長期的観点での高収益型企業を志向します
- 3 社員は家族と認識し、アットホームな会社を作ります

基幹業務のサポート企業として課題解決サービスを提供し、お客様の社業の発展に貢献することが使命です。

企業のニーズに合わせ、

多様な業務システムを提供

Keyword

02

会計、給与・人事・就業、販売・仕入、税務計算など、多様なラインアップを用意し、目まぐるしく変化するバックオフィス業務の課題解決に貢献します。また、建設業会計・公益法人会計・社会福祉法人会計・医療法人会計など、業種・業態に応じた会計システムの提供もおこなっています。

財務会計

給与・人事・勤怠

販売・仕入・在庫管理

税務計算

PCAクラウドを 他社に先駆けて提供

Keyword

03

導入社数

12,000 法人

2018年度稼働率

99.9999 %



基幹業務のクラウドサービス『PCAクラウド』はサービス開始から10年以上の実績を持ち、他社には真似できない幅広いサービスラインアップと安定した稼働率、強固なセキュリティで多数の会社様からご支持をいただいています。

ストック収入の拡大

Keyword

04

フロー収入
51.2%



ストック収入
48.8%

クラウド・保守サービスといったストック収入の売上比率の向上を目指し、持続的・安定的な収益を見込めるビジネスモデルの推進と強化を進めています。

働き方改革に貢献

Keyword

05

当社では、テレワーク環境を実現してワークスタイルを変革するPCAクラウドや、他のシステムとシームレスな連携で業務効率を向上させるWeb-APIを提供し、生産性の向上を推進しています。企業の中長期的な展望を見据えた提案で働き方改革に貢献しています。

PCAの働き方改革のご提案



新中長期経営ビジョン【PCA Vision 2030】

基幹業務の高度な自動化を実現するソフトウェアの提供を核に
企業の円滑な経営・運営をサポートする
「マネジメントサポート・カンパニー」として社会に貢献する企業であり続ける

中期基本方針

長期的かつ安定的な事業の継続・発展を目指した事業基盤の確立と企業体質の強化

I 主力事業の収益基盤の確立

1. PCAクラウドの強化・拡販
2. オンプレミス事業の強化



中期目標（2022年3月期）：
ストックビジネスによる売上高60億円

II 新たなビジネスチャンスの創造

III 高収益体質に向けた経営管理基盤の強化

IV モノづくりの強化

ここ数年、新たな潮流でビジネスが変遷する中、事業環境を多様な観点で見つめ直すと、時代の流れは「モノからコトへ」と価値観が変わりつつあります。その流れのもとで、ビジネスモデルも変革させていく必要があると認識しています。

この思いをもとに、新中長期経営ビジョンである「PCA Vision 2030」を策定し、今後3年間の私共の方針を「中期経営計画」として上記のようにまとめました。

今次中期経営計画は、「長期的かつ安定的な事業の継続・発展を目指した事業基盤の確立と企業体質の強化」という基本方針のもと、自社製品・クラウド・保守サービスの充実・成長軌道を描くことで、「自ら稼ぐ力」を復活・強化する「種まき」の期間と位置付けております。

今後とも、「カスタマ・ファースト」の精神で、社業の発展に努めてまいります。

サービス指向の モノづくりにこだわる マネジメント サポート・カンパニーを 目指します

代表取締役社長

佐藤 文昭



Q 2019年3月期の業績の振り返りをお願いします。

A 消費税改正・Windows7サポート終了に備える事前キャンペーンが奏功し、2度目の売上高100億円超えを達成しました。

2019年3月期の連結売上高は114億39百万円と、WindowsXPサポート終了および消費税改正特需により、過去最高を記録した2014年3月期を上回り、2度目の100億円超えを達成することができました。

2019年3月期は創業から39期目だったこともあり、これまでのお客様との繋がりに感謝する「サンキューキャンペーン」と銘打ち実施した、Windows7サポート終了や消費税改正に備える事前キャンペーンがお客様からご評価いただけたと考えています。社長就任1年目に大きな特需に恵まれ、非常にありがたく思う一方で、特需以降も確実に成長していく道筋をしっかりとつけていかなければならないとその重責を感じております。

Q 特需をしっかりと享受できた要因はどこにあるとお考えでしょうか。

A 11年前より体制を整えてきた「PCAクラウド」が高く評価された結果だと捉えています。

さまざまな領域でクラウドサービスの利用が進む中、当社は、会計や人事・給与・勤怠管理、販売・仕入・在庫管理ソフトといった基幹業務システムを、パッケージ製品の機能をそのままにクラウドサービスにて利用で

きる「PCAクラウド」の提供を、業界に先駆けて2008年に開始しました。11年前にスタートした取り組みですが、パッケージ製品と同等機能、充実したラインアップでクラウド提供されている例は現在も少なく、これが当社サービスの最大の特長となっています。

自然災害が多発する中で、事務所が被災してもデータが保全されるというBCP（事業継続計画）対応の観点から、また、サーバーメンテナンスやサイバーセキュリティにかかる費用もサービス料に含まれ、ホスティングサービスよりも安価で利用できるコスト面でのメリットや、SOC1・SOC2保証報告書、ISMSクラウドセキュリティ認証取得による信頼性も含め、総合的に「クラウドならPCA」という高い評価を得られた結果だと捉えています。現在1万2,000社を超えるPCAクラウドご利用のお客様には他社製品からの切り替えの方も多く、直近4年は年率2割増でサービス利用が加速していましたが、2019年3月期は3割強の伸びを示し、時間をかけ整えてきた体制への信頼の結果であると認識しています。

Q 2020年3月期を初年度とする3カ年経営計画についてお聞かせください。

A 「中長期経営ビジョンPCA Vision 2030」の実現に向けた種まきの時期と位置付け、新商品・新サービス構築の体制作りを進めていきます。

足元では、「PCAクラウド」に加え、「働き方改革」に対するニーズの高まりから好調に推移している子会社ク

ロノスの「就業管理ソフト」の導入拡大を通じて、成長を継続できると確信していますが、その先のさらなる成長を目指すには「稼ぐ力」の強化が必要です。そこで、お客様にとってより利用価値の高い、課題解決サービスの提供を追求する「マネージメントサポート・カンパニー」へと進化していくことを中長期経営ビジョンに掲げました。この「PCA Vision 2030」の達成に向け、当3カ年で稼ぐ力の強化に繋がる新たな「種まき」を通じて成長の芽を育て、次の3年で新しい事業・製品・サービスを生み出し続ける体制を確実なものとし、中長期的に「モノ」を提供する会社から「サービス」を提供する会社へと転換していくことをイメージしています。

当3カ年では、まず「主力事業の収益基盤の確立」を目指し、既存事業のストックビジネス化を進めます。PCAクラウドの利用拡大に加え、従来パッケージ販売してきたソフトウェアを、利用課金型で最新版を利用いただけるサブスクリプションモデルでの提供に変更していきます。更新需要においてパッケージ製品のバージョンアップを希望されるオンプレミス環境のお客様が多かったことから、この仕組みを導入することとしました。今後、段階的に既存ビジネスをクラウドとサブスクリプションへの置き換えを進め、ストックビジネス体制へと移行させていきたいと考えています。

2つ目のテーマ「新たなビジネスチャンスの創造」では、クラウド展開以降、従業員規模100名を超えるお客様層のご利用が増加していることを鑑み、グループ管理等も必要とされる中堅企業層に向けたサービス提供に再チャレンジすることとしました。「PCA hyper」シリーズとして、すでに2019年2月に会計・固定資産の販売を開始し、7月には給与・人事管理、年明けには債権・債務管理と順次リリースしていく予定です。

また、イノベーション統括室を新設し、新サービス、新事業の創出・展開を計画・推進する体制を強化しま

した。3月にはビッグデータビジネス領域を得意とするKeepdata(株)をグループ化し、事業連携をスタートさせましたが、今後も事業シナジーを生む周辺サービスを取り込みながら、新たなビジネスチャンスの創造と拡大に努めていきます。

また、ビジネスを量の追求から質の追求へと進化させていく中で、評価基準や人事制度の見直しも含め、社内体制を改善しながら体制を強化していくことを意図した「高収益体制に向けた経営管理基盤の強化」および「新たなビジネスチャンスの創造」の実現には、技術開発力の強化が不可欠であるとの考えから「モノづくりの強化」もテーマに掲げています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 新たな成長の礎となる種まきを実行し、特需以降も確実に成長し続ける事業展開を目指していきます。

特需以降も成長軌道を描き続けられる会社となるために、現在の成長の核であるクラウドの強化に加え、さらなる発展に向けた種まきを確実に実行していくことが私の使命であると考えています。

株主還元につきましては、業績が振るわない時期にも安定配当の方針に則り、配当額を維持してきた事情を鑑み、増益ではあるものの、前期と同額の31円とさせていただきます。特需を乗り越えた後、新たな成長を確実なものとする段階に入った際は、業績に連動させた形で利益還元を充実させてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後の成長にぜひご期待いただくとともに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月期業績予想

売上高	127億83百万円
営業利益	14億78百万円
経常利益	14億99百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	9億76百万円

2019～2021年度 中期経営計画 2021年度目標指数

売上高	115億円以上
営業利益	15億円以上
営業利益率	10%以上

会社概要 (2019年6月21日現在)

商 号 ピー・シー・エー株式会社
PCA CORPORATION

資 本 金 8億9,040万円

代 表 者 代表取締役社長 佐藤文昭

創 業 昭和55年8月1日

従 業 員 398名 (2019年4月1日現在)

事業内容 コンピュータソフトウェアの
開発および販売等

役 員

代表取締役社長 佐藤文昭
取締役相談役 水谷学
取 締 役 水谷豊
取 締 役 玉井史郎
取 締 役 荒井久美子
取 締 役 隈元裕
常勤監査役 赤池宗和
監 査 役 深澤公人
監 査 役 佐竹正幸
監 査 役 生田美弥子

主な取引先 (2019年4月1日現在)

株式会社大塚商会
キャノンシステムアンドサポート株式会社
キャノンマーケティングジャパン株式会社
シネックスジャパン株式会社
SB C&S株式会社
ダイワボウ情報システム株式会社
Dynabook株式会社
日本マイクロソフト株式会社
株式会社日立システムズ
富士ゼロックス株式会社
富士通株式会社
株式会社リコー
リコージャパン株式会社
(五十音順)

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 23,695,000株
発行済株式総数 7,700,000株
株 主 数 6,857名

事業所

本社・東京支店
東京(開発)センター
札幌事業所(含 札幌営業所)
東北営業所
関東営業所
横浜営業所
静岡営業所
名古屋支店
北陸営業所
大阪支店
中四国営業所
広島営業所
九州営業所
山梨テクノセンター

子会社

株式会社ケーイーシー(本社東京都)
クロノス株式会社(本社東京都)
Keepdata株式会社(本社東京都)

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

基 準 日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電 話 0120-232-711 (通話料無料)

告 告 の 方 法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

告 告 掲 載 URL / <http://www.pca.co.jp>
上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部

ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にても、お取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

2018年11月、ホームページをリニューアルいたしました!

トップページからリニューアルを開始し、現在も内容の充実を図るべく、随時更新を続けております。
株主の皆様にご覧いただくIRページでも決算説明会の動画や資料の掲載を始めており、今後も情報発信を続けてまいります。是非ご覧ください。

—— トップページ ——



—— IR情報 ——



URL <https://pca.jp/>

ピー・シー・エー株式会社

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。